

評価項目・基準

評価項目	評価の視点	配点
1 実施体制等		18
(1) 業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・同種業務の受注実績を有しているか。 ・十分な知見があると判断できる実績を有しているか。 	18
(2) 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務に精通した従事者の配置やその従事者の保有資格・実務経験等が適しており、適切に業務を行える体制となっているか。 ・本市企業の活用や本市市民の雇用等があるか。 	
2 実施方針・工程計画		15
(1) 実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の状況、業務目的や業務内容を踏まえた上で、具体的かつ最適な実施方針を示しているか。 ・職員負担の軽減や効率的な事務運営の視点から適切な提案を行っているか 	10
(2) 工程計画	<ul style="list-style-type: none"> ・業務手順や工程が明確であり、期間内で円滑に確実な遂行ができるか。 	5
3 システム構築の提案		55
(1) システム構成	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の求める機能要件を満たす提案となっているか。 	3
(2) 具体性・実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の状況等を踏まえ、具体的な業務内容、データ整備手法が提案されているか。 ・建築計画概要書等のデータ整備手法や既存データの移行について、実現性の高いものになっているか。 	37
(3) 窓口システムの操作性・利便性・拡張性	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な操作で扱えるシステムであるか。 ・職員によるデータ更新作業や、ログ管理等の操作性・利便性が高いものになっているか。 ・建築行政・開発許可のDX推進に対しての機能拡張や、他のサービスとの連携が可能なシステムであるか。 	
(4) 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務を遂行する上での創意工夫が感じられるか。 ・仕様書の内容以外で有益な提案があるか。 	
(5) 情報セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護など情報セキュリティ対策に関する体制は十分であるか。 	5
(6) 運用・保守	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプデスクや障害時等の対応など、運用支援が明確であるか。 ・バックアップ体制や管理体制が示されているか。 	10
4 提案価格		12
見積書の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務に要する費用 ・システム保守・運用に係る費用 	12
合 計		100